

哲学者とはブルジョワジーの下僕だ
(アルチュセール)

« Pouvoir-savoir » ou « Appareils d'État » ?

「権力-知」が、 —〈68年5月〉後のフーコーとアルチュセール 「国家装置」が

: Foucault et Althusser après le Mai 68

哲学とは真理の政治学だ (フーコー)

I. 国際ワークショップ

2016.3.19.sat. 13:00-19:00

使用言語: 日本語・英語・仏語 (通訳あり)

講演

バーナード・ハーコート (コロンビア大学ロースクール)

ノックス・ピーデン (オーストラリア国立大学社会科学部)

市田良彦 (神戸大学国際文化学研究所)

小泉義之 (立命館大学先端総合学術研究所)

長原 豊 (法政大学経済学部)

祭 (68年5月) のあとには内省と分裂の時代がはじまる。そんな時代もまた終わったとすれば、〈われわれ〉はどんな距離感をもってそこへ回帰すればいいのか。それともすべて忘れてしまふべきなのか——新しい「哲学と政治」のために?

2011年から2015年まで活動を続けた京大人文研「ヨーロッパ現代思想と政治」共同研究班、最後の研究集会。共同研究の成果である論集の公開合評会もあわせて開催する。

II. 公開合評会

『現代思想と政治: 資本主義・精神分析・哲学』

(市田良彦・王寺賢太共編、平凡社 2016年) をめぐって

2016.3.20.sun. 13:00-18:00

講評と討議

鵜飼 哲 (一橋大学言語社会研究科) 檜垣立哉 (大阪大学人間科学研究科)

森川輝一 (京都大学公共政策大学院) 京都大学人文科学研究所「ヨーロッパ現代思想と政治」共同研究班班員

@ 京都大学人文科学研究所本館共通1講義室

I. 国際ワークショップ

「権力-知」が「国家装置」が
—〈68年5月〉後のフーコーとアルチュセール

3.19. sat.

Profile

バーナード・ハーコート

Bernard Harcourt

1963年生。コロンビア大学ロースクール教授、フランス社会科学高等研究院 (EHESS) 研究ディレクター。専攻、法学・政治の批判理論。主要著作に、『The Illusion of Free Markets: Punishment and the Myth of Natural Order, Harvard UP, 2011; Occupy: Three Inquiries in Disobedience, University of Chicago Press, 2013 (W. J. T. Mitchell, Michael Taussigとの共著)』、『懲罰社会』(La société punitive, Gallimard/Seuil, 2013) と『悪をなし真実を言う』(Mal faire, dire vrai, PU de Louvain, 2012, Fabienne Brionとの共編、邦訳河出書房新社) という70年代以降のミシェル・フーコーの二つの講義録を編纂している。

ノックス・ピーデン

Knox Peden

1978年生。オーストラリア国立大学社会科学部哲学科研究員。専攻、ヨーロッパ近代思想史・フランス現代哲学。主要著作に、『Spinoza contra Phenomenology: French rationalism from Cavailles to Spinoza, Stanford UP, 2015』。ピーター・ホルワードと共編の『Concept and Form (Verso, 2012, 2 vol.)』には、1966年から69年まで「エピステモロジー・サークル」に結集した若きアルチュセリアンたちが刊行した雑誌『分析手帖』(Cahiers pour l'analyse)の主要論文、当事者へのインタビューなどが収録されている。

市田良彦

Yoshihiko Ichida

1957年生。神戸大学国際文化学研究所教授。京大人文研「ヨーロッパ現代思想と政治」共同研究班(公募研究A, 2011-2015)班長。専攻、社会思想史。主要著作に『存在論的政治—反乱・主体化・階級闘争』(航思社 2014年)、『革命論—マルテチユードの政治哲学序説』(平凡社新書 2012年)、『アルチュセール ある連結の哲学』(平凡社 2010年)。

小泉義之

Yoshiyuki Koizumi

1954年生。立命館大学先端総合学術研究科教授。専攻、哲学・倫理学。京大人文研「ヨーロッパ現代思想と政治」共同研究班班員。主要著作に、『ドゥルーズと狂気』(河出書房新社 2014年)、『生と病の哲学—生存のポリティカルエコノミー』(青土社 2012年)、『倫理学』(人文書院 2010年)、『デカルトの哲学』(人文書院 2009年)。

長原 豊

Yutaka Nagahara

1952年生。法政大学経済学部教授。専攻、経済学。京大人文研「ヨーロッパ現代思想と政治」共同研究班班員。主要著作に、『ヤサグレたちの街頭—瑕疵存在の政治経済学批判序説』(航思社 2015年)、『われら瑕疵ある者たち—反「資本」論のために』(青土社 2008年)、『天皇制国家と農民—合意形成の組織論』(日本経済評論社 1989年)。

II. 公開合評会

『現代思想と政治:資本主義・精神分析・哲学』
(市田良彦・王寺賢太共編、平凡社 2016年)をめぐって

3.20. sun.

Profile

鶴飼 哲

Satoshi Ukai

1955年生。一橋大学言語社会研究科教授。専攻、フランス文学・思想。主要著作に、『主権のかたで』(岩波書店 2008年)、『応答する力—来たるべき言葉たちへ』(青土社 2003年)、『抵抗への招待』(みすず書房 1997年)など。

檜垣立哉

Tatsuya Higaki

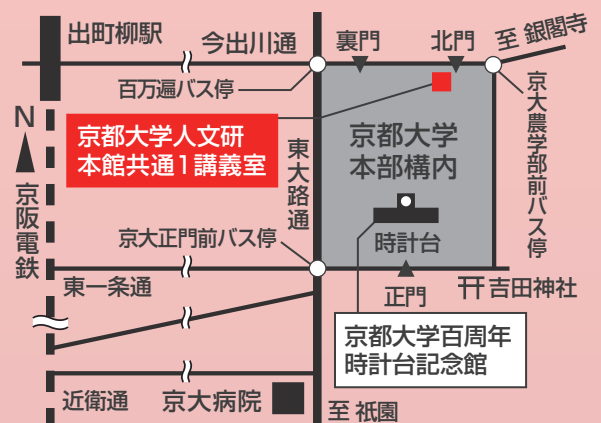
1964年生。大阪大学人間科学研究科教授。専攻、哲学・現代思想。主要著作に、『日本哲学原論序説』(人文書院 2015年)、『ヴィータ・テクニカ 生命と技術の哲学』(青土社 2012年)、『瞬間と永遠 ジル・ドゥルーズの時間論』(岩波書店 2010年)。

森川輝一

Terukazu Morikawa

1971年生。京都大学公共政策大学院教授。専攻、西洋政治思想史。主要著作に、『〈始まり〉のアーレント—「出生」の思想の誕生』(岩波書店 2010年)。

場所 | 京都大学人文科学研究所本館共通1講義室



- 市バス「京大農学部前」下車徒歩1分、または「百万遍」下車徒歩5分
- 京阪本線/叡山電車「出町柳」下車徒歩15分、北門入ってすぐ右
- ※ 駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。